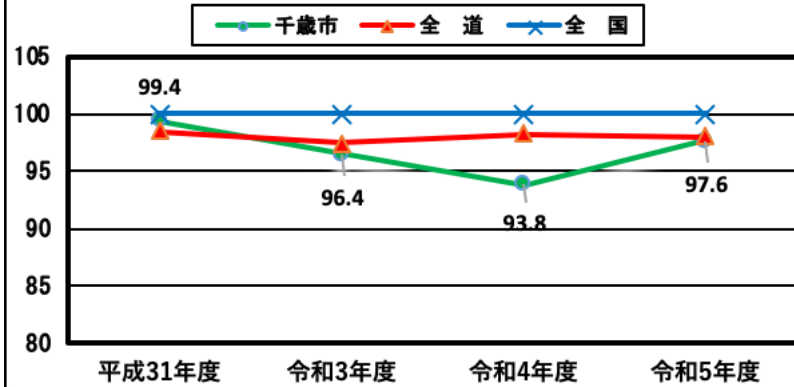


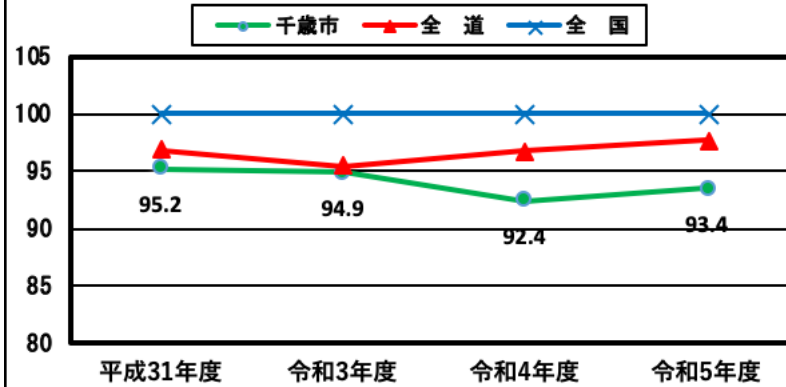
- ① 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果
(身につけたい資質・能力について)
- ② 千歳市がめざす「探究型・対話型授業」について
(学力向上の取組)
- ③ まとめ

小学校

小学校国語

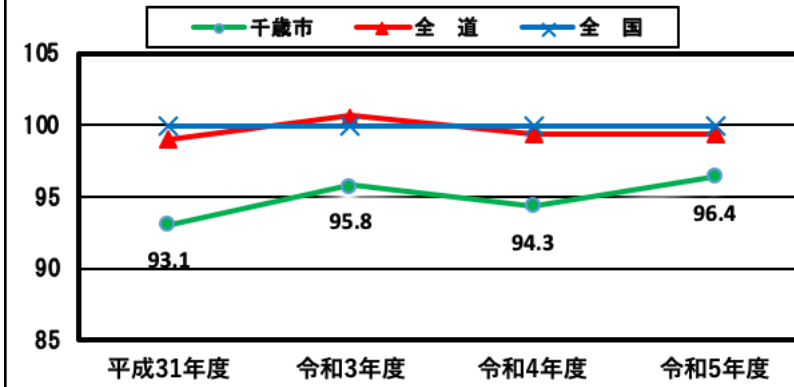


小学校算数

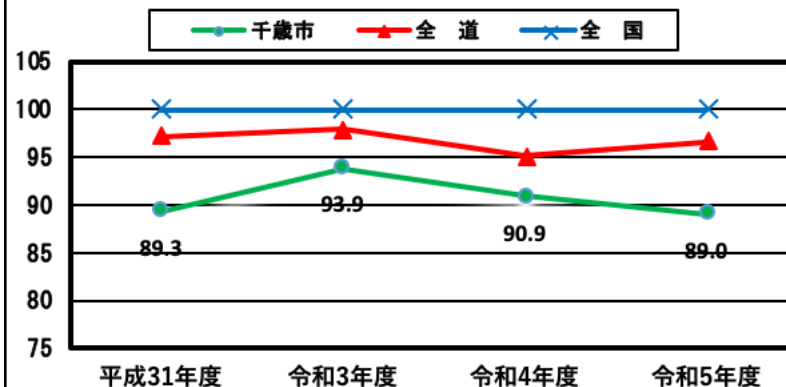


中学校

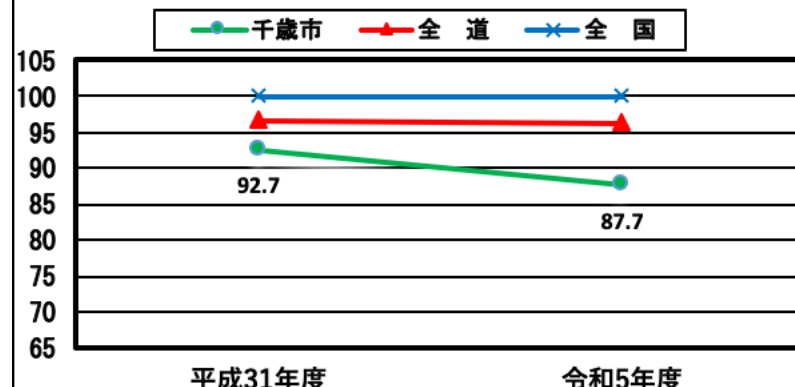
中学校国語



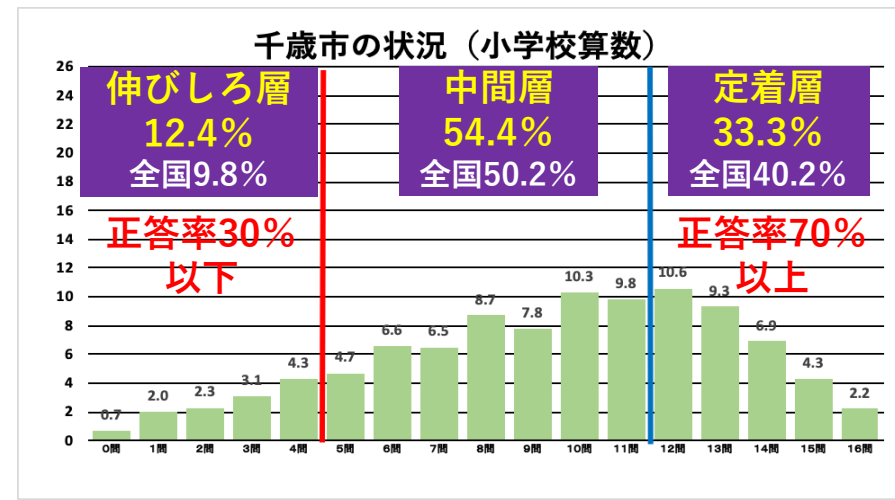
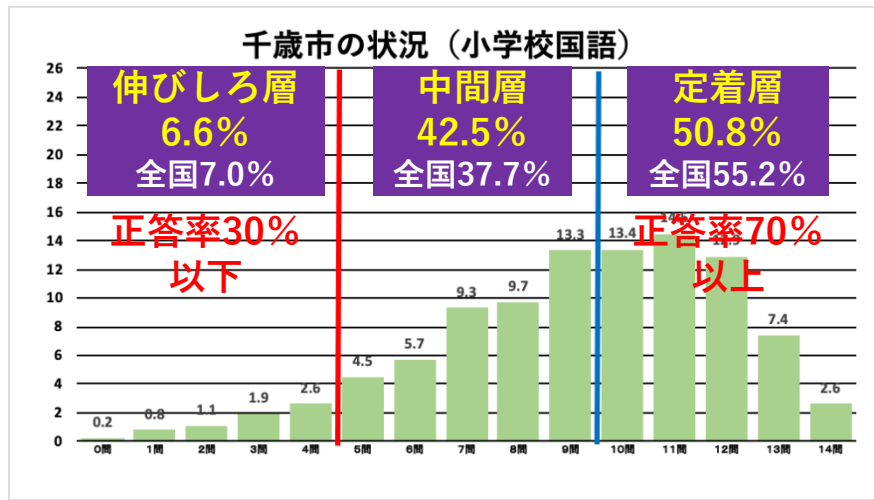
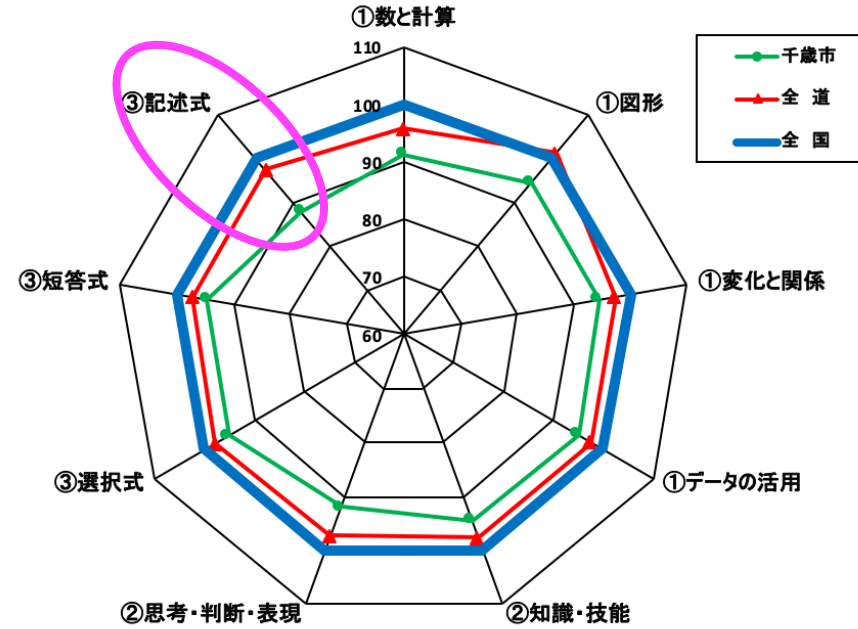
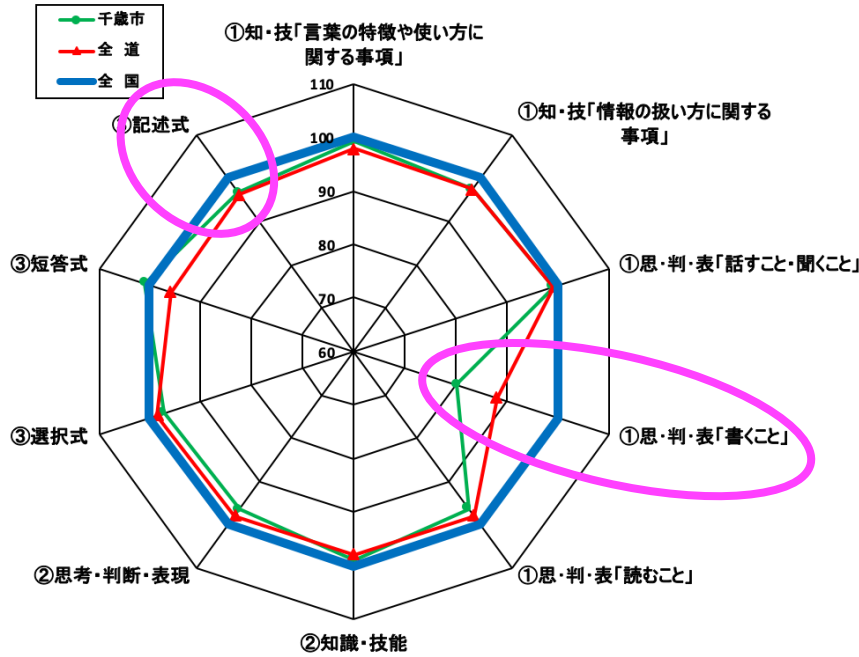
中学校数学



中学校英語



小学校

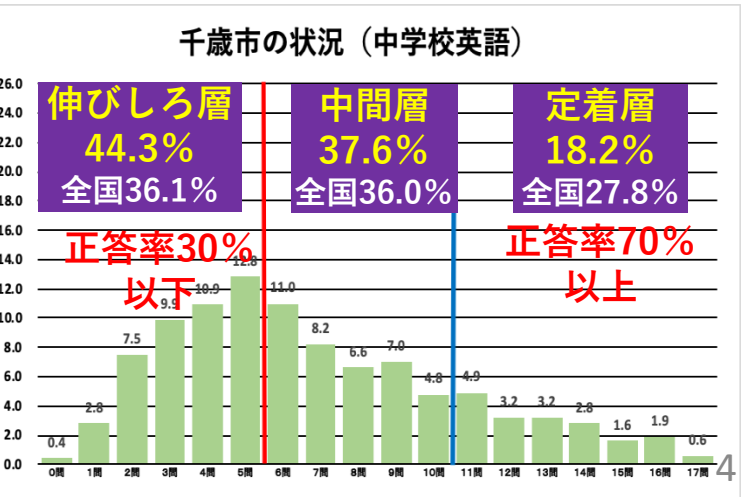
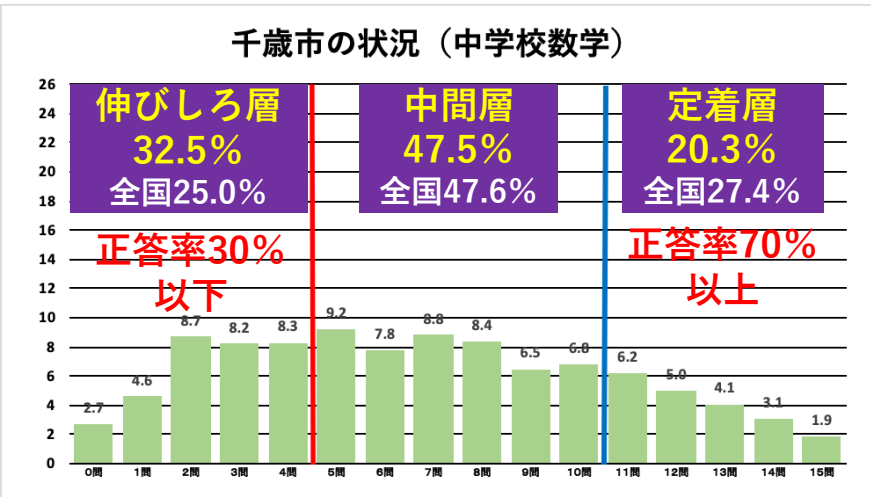
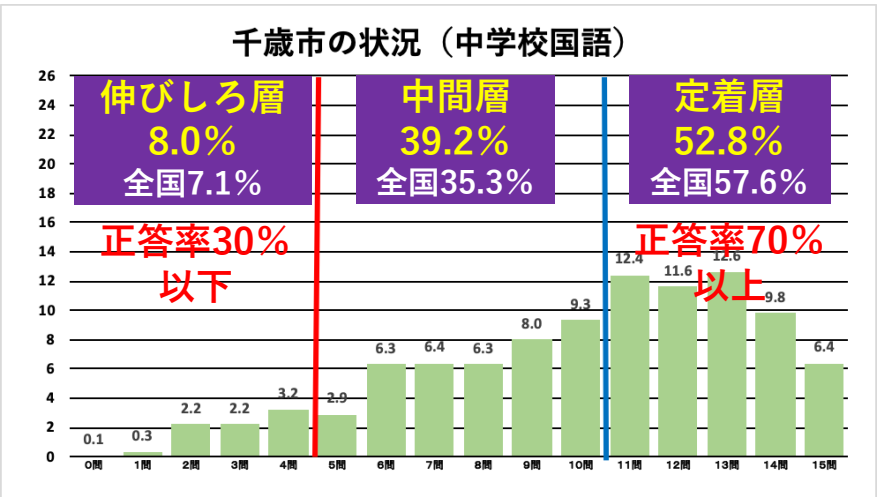
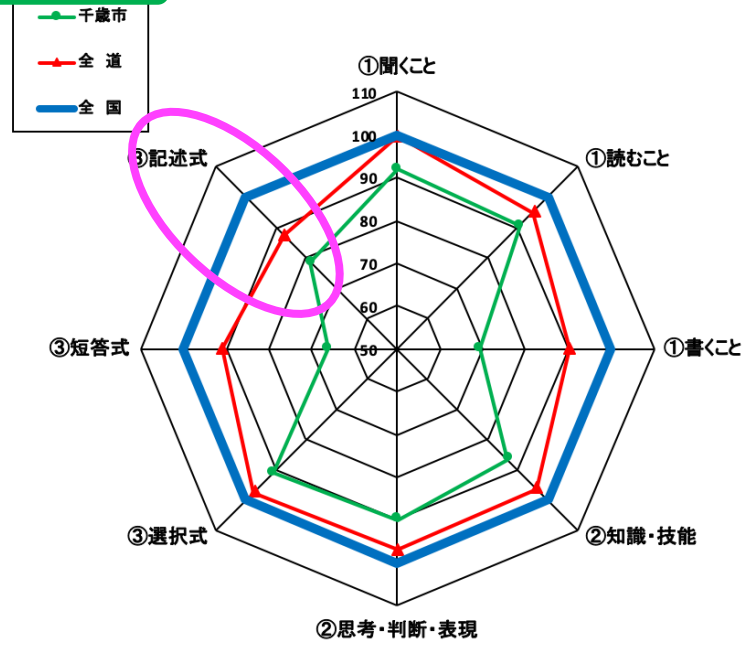
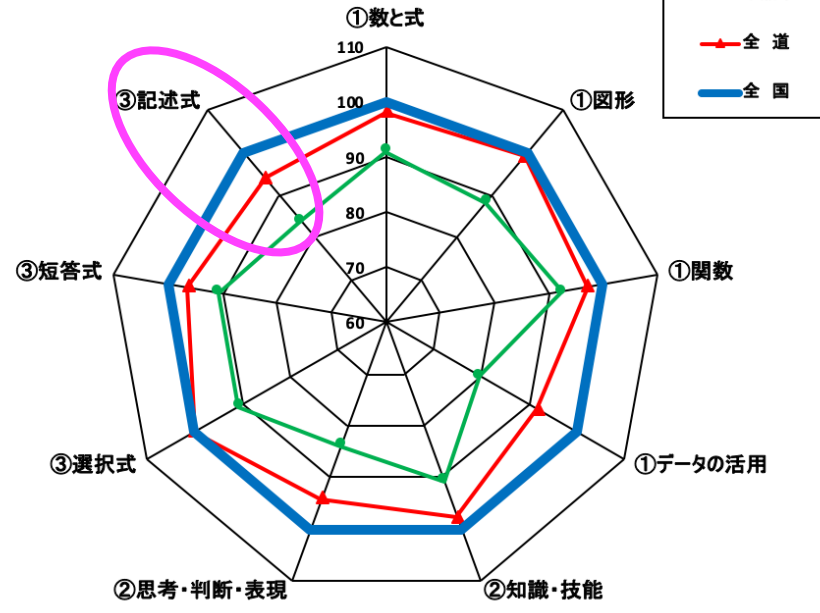
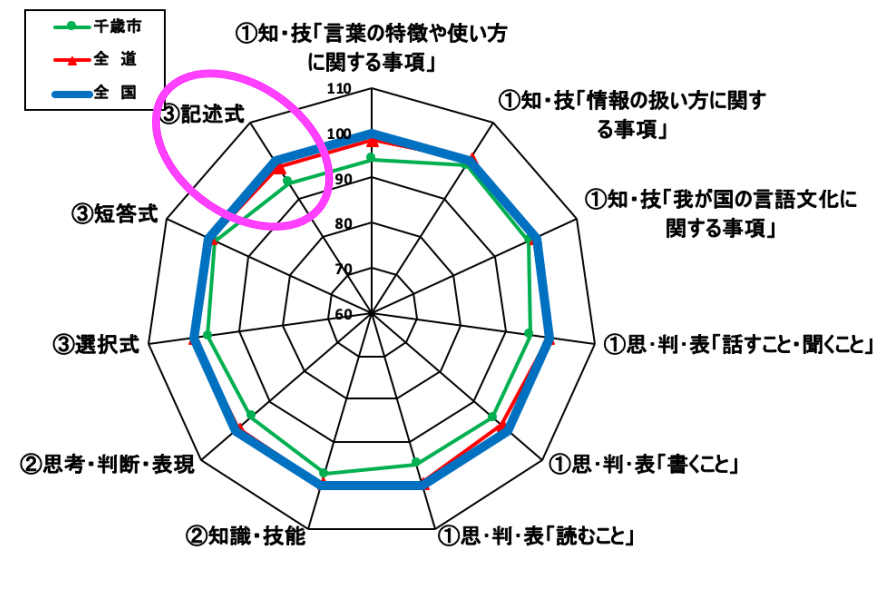


中学校

読解力

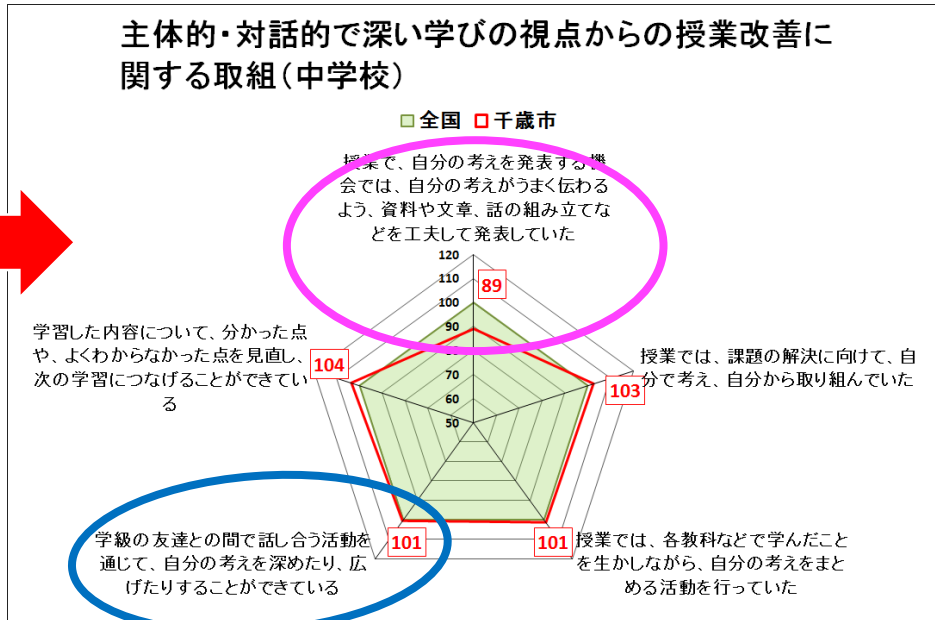
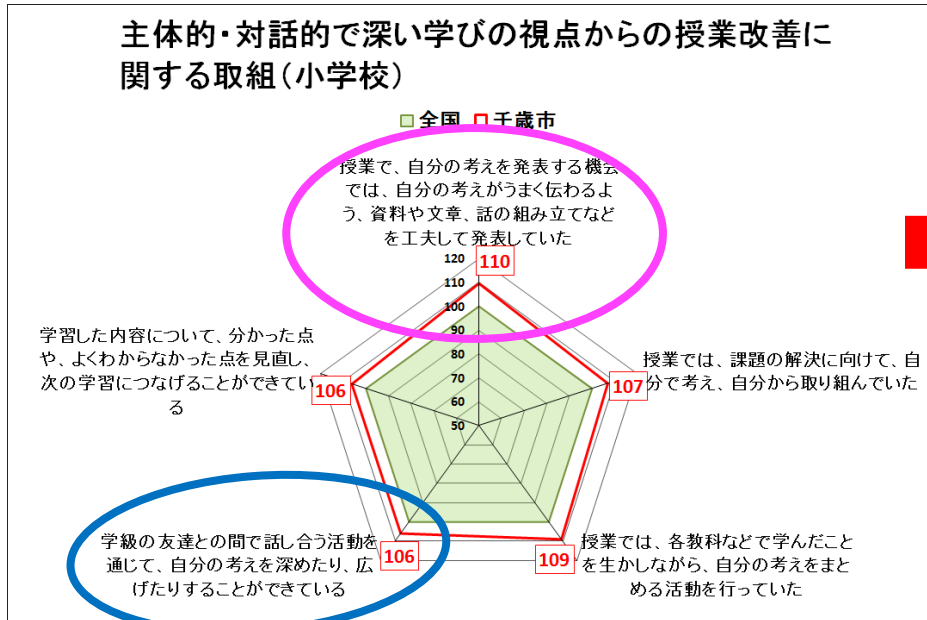
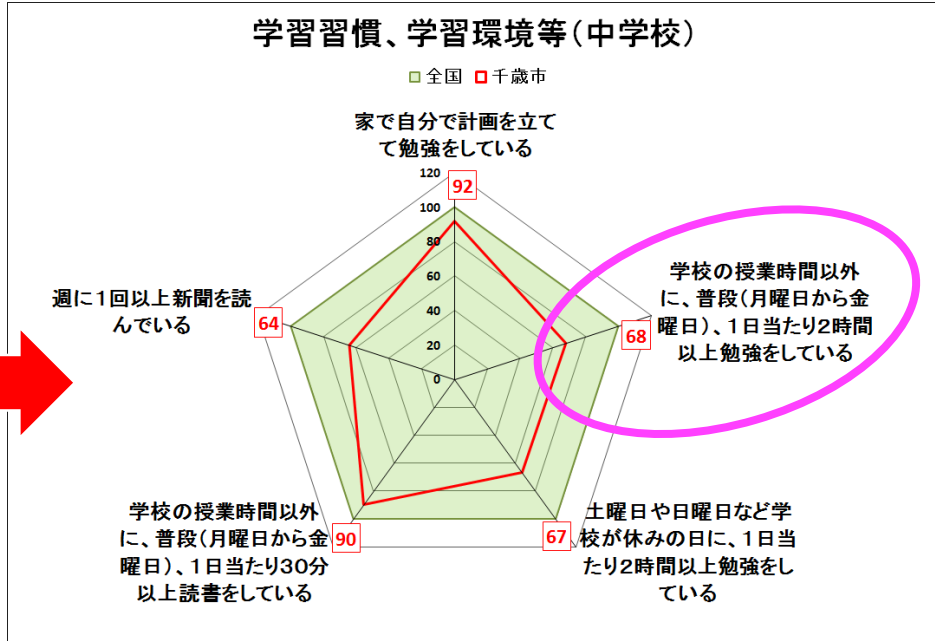
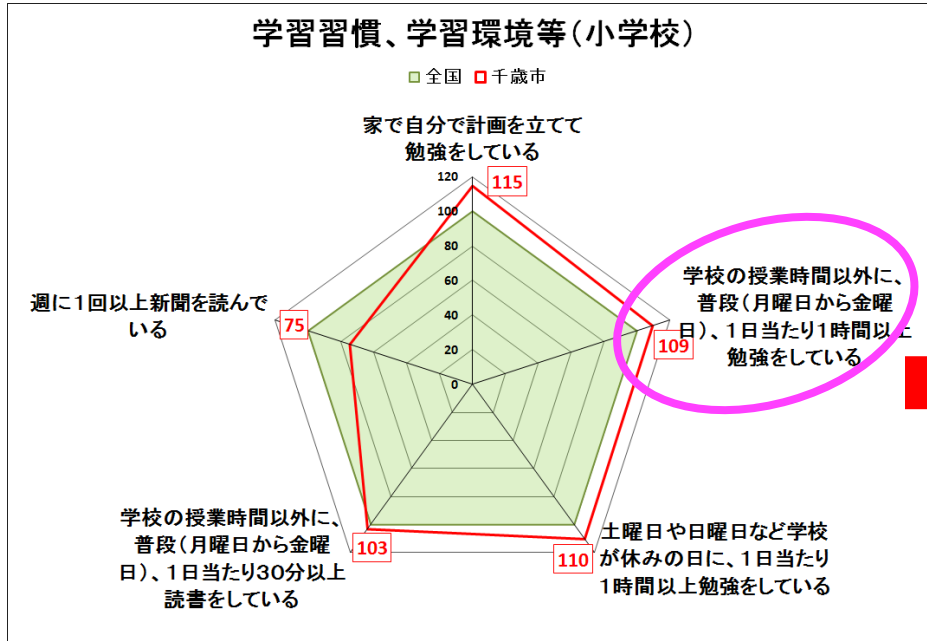
記述力

基礎学力



小学校

中学校



(2) けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4 cm、1.6 cm、2 cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。

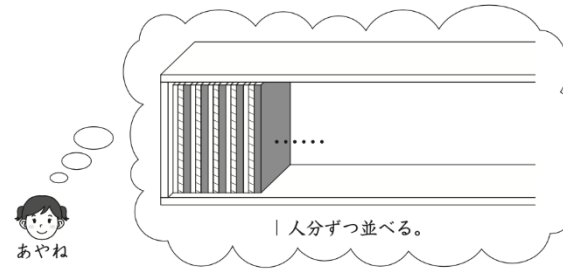
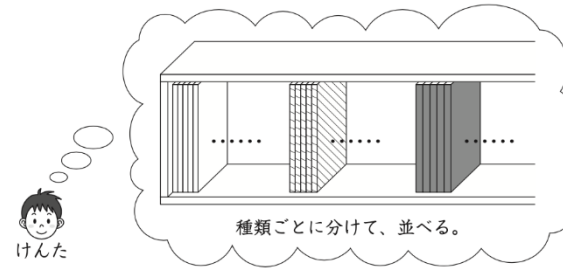
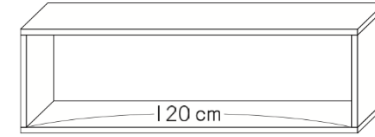
下のような、はば120 cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。

3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。

全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の**1**と**2**から選んで、その番号を書きましょう。

- 1 入れることができる。
- 2 入れることができない。



千歳市	49.1%	4.5%
北海道	53.4%	4.6%
全国	56.7%	4.0%

1人分の厚さを求めて、23人分の厚さを求める

3種類のファイルごとに23人分の長さを求め、それらの合計を求める

- ① 1人分の厚さを求めて、
- ② 23人分の厚さを求める

- ① 1人分のファイルの厚さを求めると、
 $1.4 + 1.6 + 2 = 5$
- ② 23人分の厚さを求めると、
 $5 \times 23 = 115$ で、115cmです。
※ $(1.4 + 1.6 + 2) \times 23 = 115$

A. 115cm

- ① 3種類のファイルごとに23人分の厚さを求めて、
- ② それらの合計を求める

- ① 3種類のファイルごとに23人分の厚さを求めると、
 $1.4 \times 23 = 32.2$
 $1.6 \times 23 = 36.8$
 $2 \times 23 = 46$
- ② それらの合計を求めると、
 $32.2 + 36.8 + 46 = 115$ で115cmです。
※ $1.4 \times 23 + 1.6 \times 23 + 2 \times 23 = 115$

A. 115cm

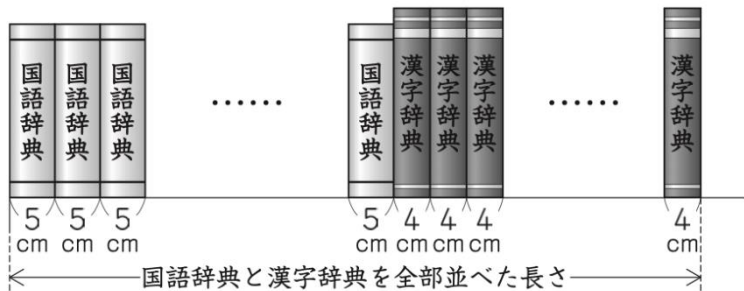
①または②の記述が不十分
答えが115でないもの

23.6%

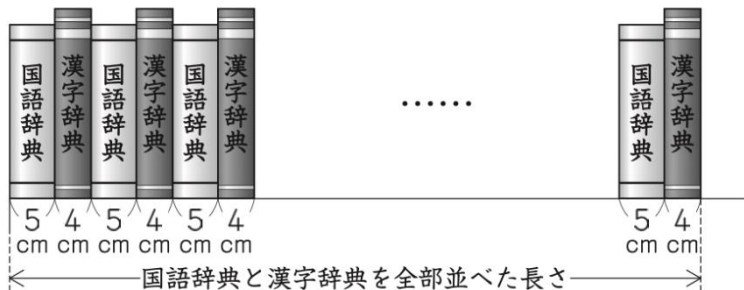
(1) わかなさんの学級では、国語辞典と漢字辞典を1冊ずつ使えるように、ロッカーの上に並べることにしました。そこで、並べる前に、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、どのくらいになるのかを考えています。国語辞典1冊の厚さは5 cm、漢字辞典1冊の厚さは4 cm、学級の人数は28人です。



国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



1人分ずつ並べたとして考えることもできます。



わかなさんの並べ方でも、あきらさんの並べ方でも、どちらも同じ長さになるはずですね。

わかなさんとあきらさんは、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さが、何 cm になるのかを計算で求めようと考え、それぞれ自分の並べ方をもとにして、次のような式を書きました。

2種類の時の考え方

【わかなさんの式】

$$5 \times 28 + 4 \times 28$$

【あきらさんの式】

$$(5 + 4) \times 28$$

3種類の時の考え方

【わかなさんの式】の「 5×28 」と、【あきらさんの式】の「 $5 + 4$ 」は、何を表していますか。

下のアからエまでの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 国語辞典 28 冊を並べた長さ
- イ 漢字辞典 28 冊を並べた長さ
- ウ 国語辞典 1 冊の厚さと漢字辞典 1 冊の厚さを合わせた長さ
- エ 国語辞典 28 冊と漢字辞典 28 冊を並べた長さ

読解力

- ・資料の活用
- ・問いと正体
- ・他の考えをまねる

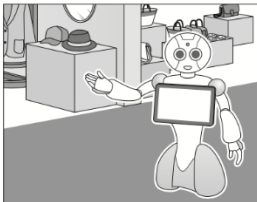
記述力

- ・自分の考えを書く

基礎学力

- ・正確に計算する

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I  could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

文の要旨を捉える

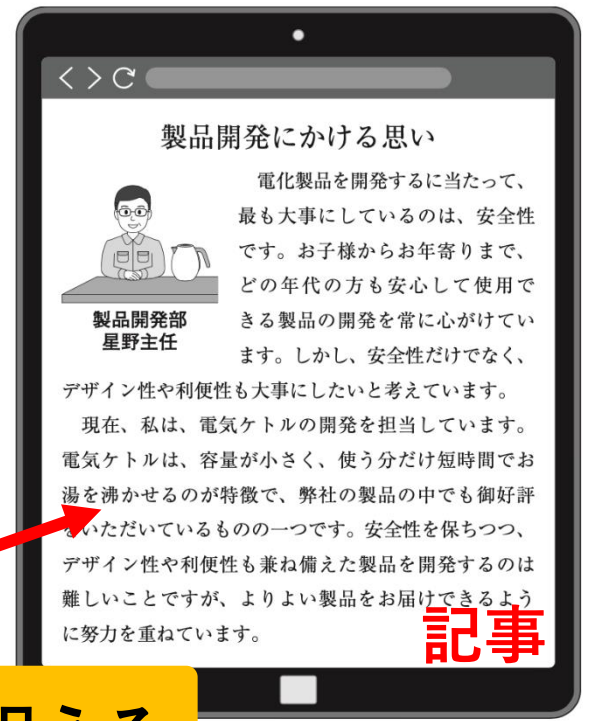


問いと
正体できない

(1) を受けて、
自分の考えを書く

	要旨	記述
千歳市	45.4% (無回答0.9%)	16.1% (無回答37.3%)
北海道	53.7% (無回答0.8%)	17.2% (無回答33.1%)
全国	56.1% (無回答0.8%)	19.5% (無回答29.3%)

1 南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の「インターネットの記事」、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。



インタビューの前に準備したメモ

星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

インタビューを通して知りたいこと

- 「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- 「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- 社会で働く上で何が大切だと思うか。

インタビューの様子

南 青空中学校の南と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を拝見しました。今は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

南 ありがとうございます。

南 早速ですが、星野さんは、製品開発に当たり「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていましたが、そのように考えるのはどうしてですか。

星野 はい。お客様の安全を守るための配慮することは当然なのですが、それだけでは不十分で、お客様ニーズに応じた多様なデザインや、年代を問わず手軽に利用できる利便性が求められるからです。お客様向けの製品を開発するにあたって、例えは、電気ケトルは何かの用途で倒れる可能性がありますが、だからといって、例えにくい形状にするだけを考える、デザイン性を犠牲にしないでほしい。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、倒れたときに熱湯がこぼれにくくなるように、安全性とデザイン性の両立を図っています。

南 なるほど、いろいろなことを想定しながら開発しているんですね。

星野 そのとおりです。どの製品を開発するにあたっては、お客様のことを第一に考えています。製品を使用してくさるお客様の期待に応えるために、努力は惜しみません。

南 お客様のことを大切にしたいという思いが分かりました。次の質問ですが、先ほど、電気ケトルの安全性とデザイン性の両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性の両立についても、具体的に教えてください。

星野 例えは、利便性と両立する点では、手軽に使うことを重視するお客様も多くいらっしゃるのですが、電気ケトルの軽量化に努めています。しかし、軽くするために構造を簡素化すると、手に触れる部分に熱が伝わりやすくなるなど、安全性が損なわれることがあります。毎日、こうした課題の解決に頭を悩ませています。

南 課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイデアを生み出しているのですか。私は美術部に所属していますが、よいアイデアが浮かばず、作品の制作が滞ってしまつたことがあります。

星野 よいアイデアはなかなか浮かばないものですね。そういうときは、私は仲間と話し合うようにしています。代や経験が異なるメンバーで話し合っていると、一人だけで考えていたときには思いつかなかったアイデアが生まれます。自分とは異なる考えや見方を生かすことは、学校でも職場でも大事なことではないでしょうか。

南 確かに、そうですね。他にも、働く上で大切にしていることはありますか。

星野 自分の専門分野以外も目を向けることです。一つのことにとらわれず、新たな発想は生まれません。様々な見聞を大切にしながら働いています。

南 とても参考になりました。質問は以上です。ありがとうございます。

読解力・複数資料の要旨を捉える

千歳市	78.3%	(無回答14.0%)
北海道	81.7%	(無回答11.9%)
全国	82.5%	(無回答10.8%)

【正答例】

「お客様の期待に応えるために、努力は惜しみません」という言葉が印象に残りました。誰かの役に立ちたいという思いは、責任感をもって仕事をするにつながると考えました。

四 インタビューの様子 の [] で南さんは、インタビューを通して自分が考えた「社会で働く上で大切なこと」を星野さんに伝えてインタビューを終えようとしています。あなたなら、どのように話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「インタビューの様子」から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書くこと。

条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書くこと。

記述力・引用する・考えを書く

四

次は、中学生の高木さんが、総合的な学習の時間の「地域の魅力について考えよう」という単元で、同じ班の小林さん、坂本さんとともに、自分たちで設定ポートにまとめたものです。これを読んで、問いに答えなさい。

考察の下書き

4. 考察

X市では、方言を観光PRに活用したことで、観光客数が前年度よりも増加した。こうした活用例や成果から、方言には、「親しみやすい」や「味がある」といったイメージがあることがわかった。

(A) 下書き

(B) 話し合いの場面

問三 次は、「4. 考察」の下書き（A）と、それについて、高木さんが書いた下書き（B）と、それについて話し合いの場面（B）です。話し合いの内容を味まえ、（A）を百字程度で書き直しなさい。ただし、二つの文で書くこと。

話し合い

(高木さん) 「4. 考察」の下書きを書いたんだけど、なんか上手く書けなくて。どうすればいいかな。

(小林さん) 一文目の方言の観光PRへの活用について、もっと具体的に書いた方が、観光客数が増加した理由がわかりやすいよね。

(坂本さん) わかった。二文目はどうかね。

(高木さん) 「考察」だから、二文目にはX市の方言の観光PRへの活用例や成果から、自分が考えたことを書く必要があると思うよ。

(小林さん) 下書きに書いている方言のイメージは、観光課の方が行ったアンケートの結果だね。それを書くんじゃないかって、レポートのテーマである「方言の「もつ力」について、自分で考えたことを書くといふんじゃないかな。

(高木さん) そうか。じゃあ、方言にはどんな力があるかというところについて、地域の魅力と関連付けて書いてみるかな。なんか書けそうな気がしてきた。

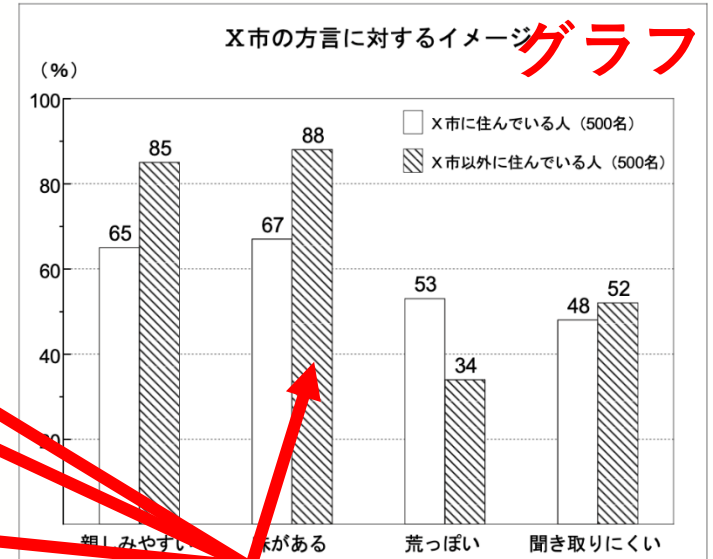
テーマ 方言のもつ力

2班 高木・小林・坂本

メモ

- ① 「地域の魅力」について考えるため、地域に特有の言葉である方言に着目した。近隣のX市が方言を観光PRに活用していることを知り、その取り組みについて詳しく調べることにした。
- ②
 - ・ X市役所のホームページの閲覧。
 - ・ X市役所観光課職員へのインタビュー。
- ③
 - (1) 方言を観光PRに活用しようとした背景
 - ・ 観光課で「X市の魅力」についてアンケートを実施した。
 - ・ アンケート項目の一つである「X市の方言に対するイメージ」について、観光課の職員が予想していたものと異なる結果が得られた。
 - X市の方言は観光資源になり得ると気付いた。
 - ※グラフ（X市役所のホームページより引用）を参照。
 - (2) 活用例
 - ・ 方言によるPR動画を作成し、インターネットやテレビなどで放映した。
 - ・ 地域の特産品に方言を生かした商品を開発した。
 - (3) 成果
 - ・ 方言によるPR動画や、特産品に方言でキャッチコピーを付けたことが、インターネットやテレビなどで話題となった。
 - X市への観光客数が前年度よりも増加した。

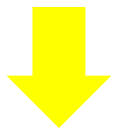
グラフ



読解力・複数資料から必要事項を見出す

5. 参考資料

「X市の魅力調査」 X市役所 <https://www> ……○年○月○日閲覧



記述力・資料をもとに書き直す

第2問 次の文章は、梅崎春生 飢えの季節(一九四八年発表の一節)である。第二次世界大戦の終結直後、食糧難の東京が舞台である。いつも空腹の状態にあった主人公の「私」は広告会社に応募して採用され、「大東京の将来」をテーマにした看板広告の構想を練るよう命じられた。本文は、「私」がまとめ上げた構想を会議に提出した場面から始まる。これを読んで、後の問い(問1～7)に答えよ。(配点 50)

本文の一部 A4 5ページ

私が無理矢理に捲き上げた構想のなかでは、都民のひとりひとりが楽しく胸をはって生きてゆけるような、そんな風の都市をつくりあげていた。私がつも念願する理想の食物都市とはいささか形はちがっていたが、その精神も少からずこの構想には加味されていた。たとえば緑地帯には柿の並木がちらり、夕昏散歩する都民たちがそれをもいで食べてもいいような仕組になっていた。私の考えでは、そんな雰囲気の中でこそ、都民のひとりひとりが胸を張って生きてゆける筈であった。絵柄や文章を指定したこの二十枚の下書きの中に、私のさまざまな夢がこめられていると言っよよかった。このような私の夢が飢えたる都市の人々の共感を得ない筈はなかった。町角に私の作品が並べられれば、道行く人々は皆立ちどまって、微笑みながら眺めて呉れるにちがいない。そう私は信じた。だから之を提出するにあたって、私はすこしは晴れがましい気持ちでもあったのである。

会長も臨席した編輯会議の席上で、しかし私の言った。悪評であった。悪評であるというより、てんで問題にされなかったのである。

「これは一体どういふつもりなのかね」
私の下書きを一枚一枚見ながら、会長はがらが、「こんなものを街頭展に出して、一体何のまめに

問7 Wさんのクラスでは、本文の理解を深めた。に「マツダランプの広告」と本文の「焼けビル」と「文章」を書いた。このことについて、後の(1)～(3)を

資料

●マツダランプの広告
雑誌『航空朝日』(一九四五年九月一日)

この広告は、戦時中には「生産に全力を懸け、御家庭用は尠なくなりましますから、お宅の用にして下さい。」と書かれていた。戦後も物が乏したため、右のように変えて掲載された。

●補足

この広告は、戦時中には「生産に全力を懸け、御家庭用は尠くなりましますから、お宅の用にして下さい。」と書かれていた。戦後も物が乏したため、右のように変えて掲載された。

読解力・複数資料から考察をまとめる

【構想メモ】

(1) 【資料】からわかること
・ 社会状況として戦後も物資が不足していること。
・ 広告の一部の文言を削ることで、戦時中の広告を終戦後に再利用していること。

(2) 【文章】の展開
・ 【資料】と本文との共通点
・ マツダランプの広告
・ 「焼けビル」(本文末尾)

(3) 「私」の「飢え」についてのまとめ

考察

【文章】の「マツダランプの広告は、戦後も物資が後にある「焼けビル」とには共通点がある。 I この共通点は、本文の会長の仕事のやり方とも重なる。そのような会長の下で働く「私」自身はこの職にしがみついても苦しい生活を脱する可能性がないと思ひ、具体的な未来像を持つともないままに会社を辞めたのである。そこで改めて「資料」を参考に、本文の最後の一文に注目して「私」の「飢え」について考察すると、「かなしくそそり立っていた」という「焼けビル」は、 II と捉えることができる。

- (i) 空欄 I に入るものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19。
- それは、戦時下の軍事的圧力の影響が、終戦後の日常生活においても色濃く残っているということだ。
 - それは、戦時下に生じた節約の精神が、終戦後の人びとの生活態度においても保たれているということだ。
 - それは、戦時下に存在した事物が、終戦に伴い社会が変化する中においても生き延びているということだ。
 - それは、戦時下の国家貢献を重視する方針が、終戦後の経済活動においても支持されているということだ。
- (ii) 空欄 II に入るものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- 「私」の飢えを解消するほどの給料を払えない会社の象徴
- 「私」にとって解消すべき飢えが継続していること象徴
- 「私」の今までの飢えた生活や不本意な仕事との決別の象徴
- 「私」が会社を辞め飢えから脱却する勇気を得たこと象徴

R5.11月 校長会議等での共有内容（抜粋）

国語科に限らず各教科において千歳市の課題「読解力と記述力の向上」に対する授業改善や、算数・数学科では習熟度別少人数指導を中核とした個に応じた指導の充実が必要である

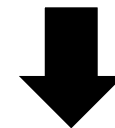
石狩管内では「対話を重視した授業改革」や「各層（伸びしろ・中間・定着層）の児童生徒の学力保障」が課題

講義型の授業から探究・対話型の授業への転換を図り、児童生徒の資質・能力を育み、基礎学力を十分に伸ばす必要がある

講義型の授業から、**探究型・対話型の授業**への転換

児童生徒自らが

- ① **課題を設定し、**
- ② **解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、**
- ③ **周囲の人と意見交換・協働したり**
しながら進めていく学習活動



思考力や判断力、表現力などを育成

講義型の授業

探究型・対話型の授業

前時想起

- ・前時の練習問題を解かせる
- ・全体で答え合わせを行う

今日の問題を教科書で確認しましょう

13

$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5}$ の計算のしかたを考えましょう。

課題設定

問いとの出会いの場

課題 $2\frac{1}{5} - \frac{2}{5}$ の計算の方法を考えよう

前時想起

① $\frac{3}{5} + \frac{1}{5}$ ② $\frac{12}{9} - \frac{3}{9}$ ③ $\frac{5}{7} + \frac{6}{7}$
 ④ $2\frac{4}{5} - 1\frac{1}{5}$ ⑤ $3\frac{2}{7} + 1\frac{3}{7}$ ⑥ $2\frac{1}{5} - \frac{2}{5}$

計算できるよ。

あれ？できないよ。

計算できないと言った友達は、なぜできないと言ったのかな？理由を交流しましょう

対話①

分子の 1-2 ができないからじゃないかな。

講義型の授業

探究型・対話型の授業

個人解決

教科書にあてはまる数を考えましょう

みき ◆ 整数と仮分数に分けて考える。

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = 1\frac{\square}{5} - 1\frac{2}{5}$$

$$= \square\frac{\square}{5}$$

たくや ◆ 仮分数になおして考える。

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = \frac{\square}{5} - \frac{\square}{5}$$

$$= \frac{\square}{5}$$

簡単にできたから、暇だな

わからないから、先生教えて

問題解決

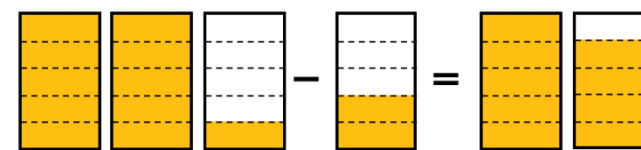
個人解決

今までの学習で使った方法を生かして、問題を解きましょう。

【仮分数1】

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = \frac{11}{5} - \frac{2}{5} = \frac{9}{5} \left(1\frac{4}{5}\right)$$

【図】



【仮分数2】

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = 1\frac{6}{5} - \frac{2}{5} = 1\frac{4}{5}$$

【数直線】



他の方法も考えよう

わからないな

対話②

自由に立ち歩いて交流して、より良い方法を見つけましょう

わからないから教えて

あっ、そうか！

そっちの方が簡単だ

同じ考えの人がいて、安心した

講義型の授業

探究型・対話型の授業

集団解決


あてはまる数を確認しましょう

問題解決

比較検討の場

集団解決

黒板に皆さんが書きたいいろいろな方法を、説明してみましょう。




みき

◆ 整数と仮分数に分けて考える。

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = 1\frac{\square}{5} - 1\frac{2}{5}$$

$$= \frac{\square}{5}$$



たくや

◆ 仮分数になおして考える。

$$2\frac{1}{5} - \frac{2}{5} = \frac{\square}{5} - \frac{\square}{5}$$

$$= \frac{\square}{5}$$

- ・ 挙手させて、あてはまる数を発表させる
- ・ 仮分数の直し方を全体で確認する

- ・ 黒板に書いた子以外に、説明させる
- ・ 交流で触れなかった考え方も知らせる

その説明はちょっと違うな

この解き方は、どうやっているのかな？

対話③

より速く・正確に・簡単な方法はどれでしょう？

仮分数に直すと速そうだな

図や数直線は、毎回書くと時間がかかる

講義型の授業

まとめ

今日の学習のまとめをしましょう

- ・ 教師が主導して、児童からの言葉を引き出してまとめる

まとめ 分子がひけない帯分数の計算では、仮分数に直して計算する。

計算練習

まとめ

探究型・対話型の授業

まとめ

黒板のキーワードをもとに、自分の言葉でまとめを書きましょう

- ・ 黒板のキーワードに着目して、まとめを書かせる。
- ・ 児童に発表させて、板書する
- ・ 板書を見て、まとめを書き直させる

計算練習

ふりかえり

今日の学習でわかったこと、頑張ったことやできるようになったことを振り返って、ノートに書きましょう

講義型の授業から、探究型・対話型の授業への転換

- ① 課題を設定
- ② 解決に向けて情報を収集・整理・分析
- ③ 周囲の人と意見交換・協働

先生は、授業やテストの間違いや、理解していないところを、**わかるまで教えてくれますか？**

→あてはまると回答した割合（R5全国学力・学習状況調査）

【小】68.9%（全国：60.9%）【中】50.4%（全国：43.7%）

講義型	探究・対話型
教師が授業の大部分を進める 一部個人指名や挙手指名の問答により進める	グループや学級全体での 意見交換をもとに進める 児童生徒の主体的な探究と相互の関わりを重視
○授業 計画通り に進む ○まとまった知識を 効率よく	○主体的な思考や試行錯誤 →「なぜ？」を重視 ○ 児童生徒が考える時間が、圧倒的に多い ○自力での課題解決（ 読解力 ） ○対話を重ねることで、説明が多くなる（ 記述力 ） ○ 児童生徒相互の関わり → 学級での居場所
基礎技能の効率的な習得	▲ 教師のファシリテートが求められる ▲低次の子への配慮が不十分になる恐れ ▲一定の慣れがないと、 授業計画が長期化 する ▲計算などの 技能習得
▲定着や活用・応用が不十分になる恐れ ▲主体的な思考や試行錯誤 ▲自力での課題解決 ▲児童生徒相互の関わり	▲ 教師のファシリテートが求められる ▲低次の子への配慮が不十分になる恐れ ▲一定の慣れがないと、 授業計画が長期化 する ▲計算などの 技能習得
教師の発話量 > 児童生徒の発話量	教師の発話量 < 児童生徒の発話量

児童生徒の関係性
→親和的な学級

周到的な授業準備
→働き方改革の必要性

基礎技能の時間の確保
→指導計画の見極め

全国学力学習状況調査 = 学習指導要領が目指す資質能力の把握

探究型・対話型の授業

